

KIKAIYA

TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

油圧プレス 10トン 低床・卓上使用

取扱説明書

【品番】P-10N

この度は「油圧プレス 10トン 低床・卓上使用(P10-N)」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * 本書を必ず最後までお読みいただき、商品を正しく安全にお取り扱いください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3




(MAIL) info@kikaiya.com

■はじめに

- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外とのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があります、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
- 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■安全に関する表示について

 危険	取り扱いを誤った場合、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定され、その危険性が高い内容』のご注意
 警告	誤った方法で使用すると、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容』のご注意
 注意	誤った方法で使用すると『使用者が傷害を負うまたは物的損害を負う危険が想定される内容』のご注意

■製品使用上のご注意

警告

- 製品の使い方をよく理解してご使用ください。
- 製品の分解・改造はしないでください。修理技術者以外の方は絶対に分解や修理はしないでください。
- ご使用前には、必ずネジの緩み各部に異常がないかを確認してから作業を行ってください。
- 能力以上の重さをかけないでください。事故や怪我、本体破損の原因となります。
- 偏荷重にならないように常に注意し、本体の傾きを感じた場合は直ぐに使用を中止してください。
- 使用中は、プレスプレートに手を近づけないでください。
- プレス中(圧縮中)にプレスプレートを動かさないでください。
- 点検・メンテナンスの前には負荷を解放してから行ってください。
- 製品が転倒しないように使用前には床にボルトで固定するなど、転倒防止措置をしてください。
- 重大な損傷を負う可能性がありますので、はさみこみや転倒に注意し、常に周囲の安全を確認してください。
- プレスプレートを置く場合は、プレステーブル上はきれいに保ちます。プレスプレートが障害物の上にあるとプレスが不均一になり、製品に過度のストレスが発生し製品が破損する可能性があります。
- ホースに重い物を落とさないでください。ホースのよじれを避けてください。
- レリーズバルブは急激に回すとシリンダーヘッドが一気に上昇し、作業対象物が落下する恐れがあり事故や怪我の原因となりますので、ゆっくりと慎重に回してください。
- 各部の損傷や異常がある場合は、必ずお買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 素手で鋭利な箇所に触ると怪我をする恐れがあります。
- 作業に適した服装(作業服・安全靴・手袋・保護メガネ等)でご使用ください。
- だぶだぶの衣服やネックレス等の装飾品は周囲に引っかかり怪我をする恐れがありますので着用しないでください。
- しっかりとした硬い水平な場所に設置してご使用ください。不安定な床面、雨が降っている中での作業や、湿った場所や濡れた場所、高温・直射日光下では使用しないでください。
- 作業場所は明るく清潔に保ち、整理・整頓された場所で作業をしてください。
- 作業員以外は作業場に近づかないでください。
- お子様の手が触れない場所で使用・保管してください。
- 異常が見受けられた場合はすぐに使用を中止してください。
- 取扱説明書に記載されている注意事項および指示は、発生する可能性のある全ての条件および状況を網羅しているわけではありません。

■製品仕様

本体重量	40kg
台座高さ調整	3段階調整 150mmピッチ(有効作業幅約 380mm)
シリンダーストローク	約 120mm
プレス部の先端直径	φ 48mm
付属品	ハンドル、プレスプレート2個(*写真・黒いプレート) *プレスプレートは取り外しが可能なので、位置を変えたり取り外す事も可能です
梱包箱サイズ	860×290×170mm(梱包重量 41kg)

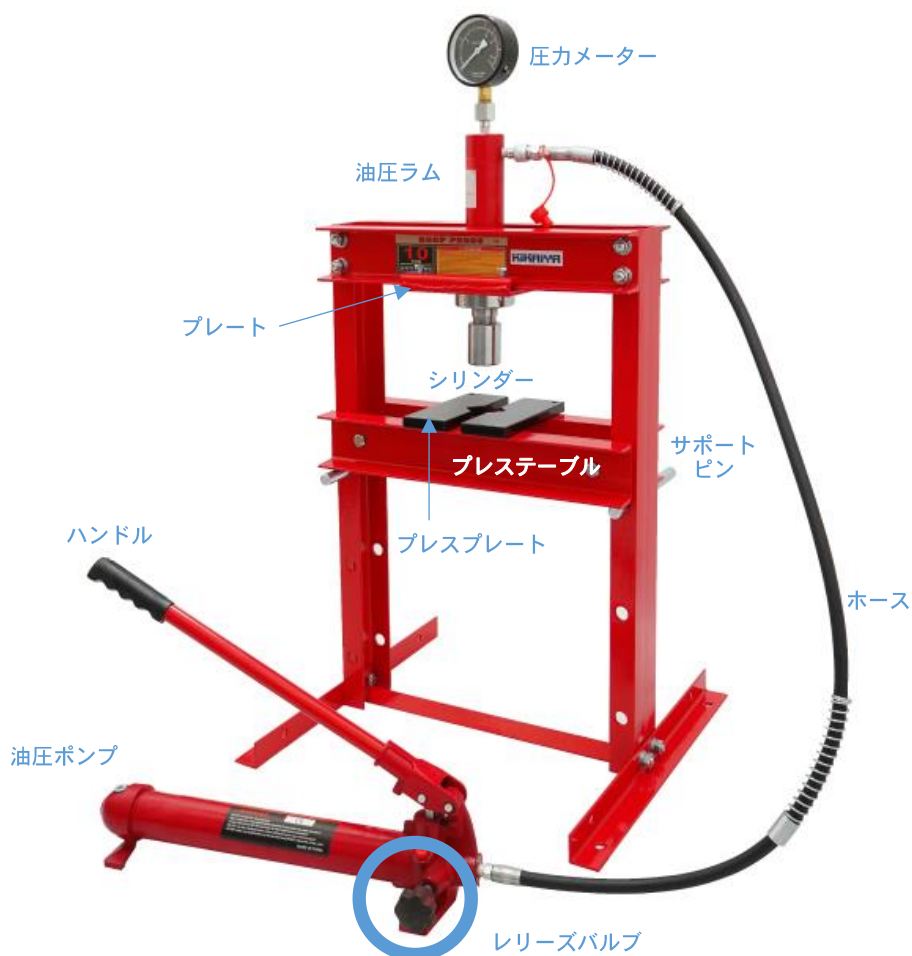
※製品改良のため、仕様は予告なく変更される場合があります。



■製品説明

- 手動タイプです
- 油圧プレス 10トンの 10トンと呼称となります。実使用は 8トン以下でご使用ください。
- シャフトの曲がり修正、芯出し、プッシュ、ベアリングの脱着等にご使用ください。
- 台座は 150mm 間隔の 3 段階で、プレス部の先端から台座まで約 85・230・380mm となります。
- シリンダーは約 120mm のストロークがあり、1 ストローク約 1.6mm です。
- シンプルな構造ですが圧力メーター付で確認しながらの正確なプレス作業が可能。
- 低床タイプなので作業台の上に置いての使用にも最適です。
- シリンダー内部にリターン springs が内蔵していますので開放バルブを緩めるとシリンダーは自動で戻ります。
- シリンダー先端部の金具は取り外し可能です。

■ パーツ名称



■ 組み立て手順

1. 本体を箱から取り出し、安定する様に脚部を組み立ててください。
2. 上部の横板を 1 枚取り付け、油圧ラムとシリンダーを取り付けたプレートをかませ、もう一枚の横板をプレートにかませながら固定します。
3. プレステーブルを組み立て、サポートピンを穴に差し込んで乗せます。
4. 圧力ゲージを油圧ラムに、シールワッシャーを2枚入れて取り付けます。
5. 油圧ラムにホースを繋ぎ、ポンプにハンドルを差し込み完成。



ご使用前にエア抜き作業を行ってください！

※初期的にポンプがエアを噛みをしてオイルを送らない事があります。

■使用方法

1. 油圧ポンプ横のリリースバルブをしっかりと手で締めてください。
2. ハンドルを上下に動かし、ポンピングします。
3. 油圧ポンプがシリンダーにオイルを送りシリンダーが動きます。
4. 少しずつシリンダーヘッドが動き、物体にあたりプレスします。
5. リリースバルブ緩めるとシリンダーがゆっくりと縮みます。

※能力以上の負荷を絶対にかけないでください。

※作業をするときはゴーグルや安全服・安全靴を着て安全に注意して慎重に作業をしてください。

＜リリースバルブの回転方向＞ ■締める＝時計回り ■緩める＝反時計回り

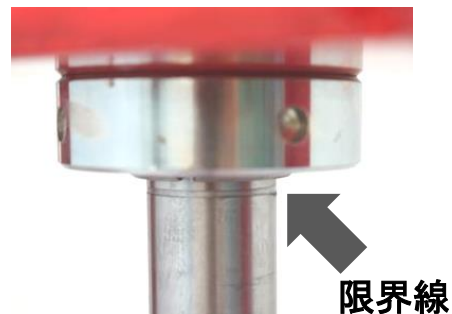
■使用上の注意

油圧ホース・油圧ゲージのチャックネジが
確実に締まっている事を確認してください。

●油圧シリンダーのストローク部分には
限界線が引いてあります。

限界線を超えた状態で圧力を上げないでください！！

※シリンダー内部のストッパーが
変形してロッドが戻らなくなる恐れがあります。



■エア抜き方法・メンテナンス

1. リリースバルブを緩めた状態でポンプを数秒動かします。
2. 通常どおりリリースバルブを閉めてポンプを動かします。

上記を2～3回繰り返すとエアが抜け、シリンダーが動きます。

- ✓ ホースやゲージの接続部はオイル漏れの原因となりますので確実に締めてください。
- ✓ エアポンプ駆動時間約1時間毎にエア接続口より作動油を2cc程注入してください。
エアポンプ内部にオイルが入り、動きが良くなります